

平成 29 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、平成 30 年 1 月から 2 月にかけて理学専攻修了予定者に対して実施した、大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。平成 29 年度修了予定者は 39 名で、そのうち 33 名から回答が得られた。修了者は 32 名であったので、未修了者を含めてアンケートの回収率は 103 %であった。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析と今後の教育へのフィードバック

【アンケート結果概要】

まず、大学院での研究や生活で満足できたものとして「研究室での研究やゼミ」という回答が84.8% (昨年度70%)と最も高く、次いで「先生との出会い」が72.7%(昨年度64%)であった。昨年度は「修士論文」が34.0%であったが、今年度は57.6 %となり、昨年度よりも数値が上がった。また、「友人との出会い」と回答した人も同じく 57.6% (昨年度44%)あった。「授業」と回答した人が48.5% (昨年度28%)となり、昨年度から満足度が概ね上がっている。

逆に満足できなかったものとしては「課外活動」が24.2% (昨年度24%)であり、昨年度と同様であった。一方、「修士論文」が12.1% (昨年度30%)であり、修士論文に関しては満足度が上昇していることが窺える。一昨年度は19%、その前年度は11%であり、年々「修士論文に満足できなかった」と答えた学生の数値が上昇していたが、今年度は大幅に減少し逆に「修士論文に満足できた」と答えた学生が大きく増えている。また「授業」については15.2% (昨年度2%)となっており、一昨年度の17%という水準に逆戻りしてしまった。しかし、大学院における授業に関する質問で「満足できた」または「満足できる授業が多かった」と回答した学生は87.9%(昨年度80.0%)であり、一昨年度の95%には届かないものの、昨年度よりは数値が上がっている。

教育研究施設（学習環境）について、肯定的意見は90.9% (昨年度80%)であり、昨年度より数値が上がっている。

就職支援活動については、肯定的意見は全体の72.7% (昨年度62%)であり、昨年度よりは上がった。ここの自由記述で「利用していない」という意見が散見され、就職室の就職支援活動が十二分に浸透していないのかもしれない。一方、就職支援の「マッチング」を利用して内定が得られたという記述もあった。

ボランティア活動の参加については、84.8% (昨年度92%)の修了予定者が活動したことがないと答えている。ボランティア活動に参加した回答者にその満足度を聞いたところ「あまり満足できなかった」と答えた回答者もあり、修士課程での研究時間が割かれることから、どのような場所でどのような活動を行うのかの選択も必要かもしれない。

「総合的に考えて、理学専攻(修士課程)で学んでよかったと思いますか。」という項目では、「とてもよかった」と答えた修了予定者は66.7%、「おおむねよかった」が33.3%であり、肯定的意見が100% (昨年度94%)であった。修了予定者にとって理学専攻で学んだことに対する満足度は非常に高いことがうかがえる。

最後に教育全般に関する自由意見を聞いてみたところ、いくつか意見が出された。今回は特に「研究装置の不調」や「研究予算の不足で研究活動に支障をきたしている」という

意見が目立った。財政面での支援が求められる。また、「まともに指導しない先生がいた」という意見を書いた修了生もあり、反省点すべき点であろう。

【総括】

大学院で満足できたものとして「研究室での研究やゼミ」を8割以上の修了予定者が挙げ、また「修士論文」と答えた方が57.6%と昨年度、一昨年度からようやく上昇した。今後も修士課程での学修の基本であるこれらの数値が上がるような努力を続けていきたい。近年は大学院進学率が低下する傾向にあり、満足度の数値との関連性があるかもしれないので、今後もこの数値については注意していきたい。就職支援活動の結果を見ると、就職活動の支援について肯定的意見が昨年より若干上がったとはいえ、まだ低いと感じる。大学院進学希望者数を増やすためには、出口をしっかりとすることが重要である。そのためにも就職支援活動の周知が一層必要とされる。さらに今回のアンケートで指摘があったような「研究予算の欠乏」、「それに付随した研究設備の不調」、「人員の削減による教員の不足」といった「さまざまな要因による研究活動への支障」が本大学大学院への進学者数に影響を及ぼすことも懸念される。今回あがった問題点は今般の大学院改組にあたって検討すべき重要な課題の一つと考えられる。今後も各分野で必要と思われる改善を進めていきたい。

II. 集計結果

1. あなたの所属する分野を下記より選んでください。

主専攻履修の方

- A. 数学 B. 物理科学 C. 生物科学 D. 地球科学
E. 情報科学 F. 応用化学 G. 海洋生命・分子工学 H. 災害科学
I. 連携分野（植物分類・地理学） J. 連携分野（海底資源科学）

準専攻履修の方

- K. 黒潮圏総合科学準専攻 L. 植物医学準専攻 M. 海洋鉱物資源科学準専攻

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	計
修了者数	6	3	6	3	6	3	1	2	0	0	0	0	2	32
回収件数	6	4	7	3	6	3	1	2	0	0	0	0	1	33
回収率(%)	100	133	117	100	100	100	100	100	0	0	0	0	50	103

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ
D. 先生との出会い E. 友人との出会い F. 課外活動
G. その他（ ）

	A	B	C	D	E	F	G	無回答
数学	4	2	3	4	2	0	0	0
物理科学	2	3	4	2	2	1	0	0

○物理科学

・自習

○生物科学

・特になし（2人）

○応用化学

・旅

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. 満足できる授業が多かった

C. 満足できる授業が少なかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	3	2	1	0	0
物理科学	0	4	0	0	0
生物科学	5	2	0	0	0
地球科学	1	2	0	0	0
情報科学	5	1	0	0	0
応用化学	2	1	0	0	0
海洋生命・分子工学	0	0	1	0	0
災害科学	0	1	1	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	1	0	0
合計	16	13	4	0	0
合計(%)	48.5	39.4	12.1	0.0	0.0

○生物科学

・実習形式の授業が多く、それぞれの分野について楽しく学ぶことができました。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. ほぼ満足できた

C. あまり満足できなかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	4	2	0	0	0
物理科学	1	3	0	0	0
生物科学	6	1	0	0	0
地球科学	2	1	0	0	0
情報科学	4	2	0	0	0

応用化学	2	0	0	1	0
海洋生命・分子工学	0	0	1	0	0
災害科学	1	1	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	1	0	0
合計	20	10	2	1	0
合計(%)	60.6	30.3	6.1	3.0	0.0

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	2	3	0	1	0
物理科学	1	2	1	0	0
生物科学	2	1	0	1	3
地球科学	2	1	0	0	0
情報科学	2	3	0	1	0
応用化学	2	0	0	0	1
海洋生命・分子工学	1	0	0	0	0
災害科学	0	1	1	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	1	0	0	0	0
合計	13	11	2	3	4
合計(%)	39.4	33.3	6.1	9.1	12.1

○数学

- ・利用していない。

○物理科学

- ・あまり活用しきれませんでした。お話しした時はとても親身に相談にのっていただけました。

○生物科学

- ・もう就職しているのでわからない。

- ・まだです。
- ・就職マッチングを利用して内定を頂くことができました。ありがとうございます。
- ・そもそも利用したことはありません。

○応用化学

- ・利用していない。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある

B. ない

	A	B	無回答
数学	0	6	0
物理科学	2	5	0
生物科学	2	2	0
地球科学	0	3	0
情報科学	0	6	0
応用化学	0	3	0
海洋生命・分子工学	1	0	0
災害科学	0	2	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	1	0
合計	5	28	0
合計(%)	15.2	84.8	0.0

8. 7で「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

A. 満足できた

B. ほぼ満足できた

C. あまり満足できなかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	0	0	0	0	6
物理科学	2	0	0	0	2
生物科学	1	0	1	0	5
地球科学	0	0	0	0	3
情報科学	0	0	0	0	6
応用化学	0	0	0	0	3
海洋生命・分子工学	0	0	0	0	1
災害科学	0	0	0	0	2

連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	1
合計	3	0	1	0	29
合計(%)	9.1	0.0	3.0	0.0	87.9

9. 総合的に考えて、理学専攻（修士課程）で学んでよかったと思いますか。

- A. とてもよかったと思う B. おおむねよかったと思う
C. あまりよかったと思わない D. よかったと思わない

	A	B	C	D	無回答
数学	3	3	0	0	0
物理科学	1	3	0	0	0
生物科学	7	0	0	0	0
地球科学	2	1	0	0	0
情報科学	5	1	0	0	0
応用化学	3	0	0	0	0
海洋生命・分子工学	0	1	0	0	0
災害科学	1	1	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	1	0	0	0
合計	22	11	0	0	0
合計(%)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

10. 理学専攻（修士課程）の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

○数学

- ・自分の知識を深めれて満足しています。

○生物科学

- ・本当にとても良い。生徒思いの環境だと常日頃強く感じております。いつもありがとうございます。
- ・私は宇佐の海洋生物研究教育施設で学んだが、フィールドが近く、研究施設も充実しており、とても研究に打ち込める環境であった。施設内の研究室でのゼミや他の方の研究にふれる機会も多く、先生方の指導も熱心で様々なことを学べた。良い2年でした。
- ・社会人院生であるが授業面など先生方に配慮いただき感謝しております。

○地球科学

- ・まともに指導しない先生がいた。

○海洋生命・分子工学

- ・NMR 装置が不調で、データが安定しなかったので、改善して欲しいです。

○海洋鉱物資源科学準専攻

- ・研究するなら金，先生の豊富な大学，先生のもとへ
- ・とある研究室では，研究予算の不足により，分析機器がうごかせなかったり，実験できなかったりする例をみました。
- ・就職支援に関しては，充実していると思います。